



京都市立修学院第二小学校

校長 川口 正二



TEL. 075(781)5400



FAX. 075(791)5400

平成29年度学校評価（2回目）
報告号

HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/syugakuindai2-s/>
※上のQRコードから携帯電話でもご覧いただけます。

平成29年度第2回学校評価（12月実施）集計結果のご報告

平成30年3月2日

日を追うごとに日差しが暖かくなり、春の訪れが感じられる季節になってまいりましたが、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校教育推進のためにご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、遅くなりましたが12月に行いました今年度第2回の学校評価アンケートの集計等についてご報告させていただきます。これまで同様、保護者の皆様には回答にご協力いただき、ありがとうございます。頂戴したご意見など参考にさせていただいて、本校教育をより一層充実させていきたいと考えております。

また、学校評価アンケートについては、毎回学校運営協議会理事会においてその集計結果等をお示しし、ご意見をいただいております。教職員による年間反省等とあわせて本校教育の充実に生かしていきたいと思います。

1 集計結果について（集計表後掲）

＜児童・保護者・教職員比較＞

前回までと同様、本校の学校教育目標にも位置づけている「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」、そして本校の目指す学校像として掲げている「家庭・地域との共済」の4つの分野にまとめて掲載しております。

どの項目も例年と大きな相違のない結果となりました。平成28年度2回目から加え、今回3回目となる「修二校が好きである（児）」「修二校の教育に満足している（保）」の項目について見ますと、「よく出来ている」「大体出来ている」のプラス評価が93.8%→92.4%→94.2%（児童）、94.5%→92.6%→95.7%（保護者）と継続して高い数値となっており、概ね本校の教育を評価していただいていると感じております。また、「楽しい学校生活を送る」についても高い評価となっております。しかしながら、様々なご批判もいただいております。更に改善を進めていきたいと考えております。

＜児童による評価＞

今回も、変化の様子が分かるよう、平成27年度からの同じ12月実施の結果を折れ線グラフで示しております。

特徴的な傾向として「学校での授業が楽しい」「学校での授業が分かりやすい」「家庭学習や宿題を進んで行う」「望ましい言葉づかいをする」「他の人を思いやり、親切にする」「自分に自信をもって行動する」「最後まで物事をやり遂げようとする」「教職員に質問や相談をしやすい」において、「よく出来ている」の評価が同じような増加のカーブになっているこ

とが挙げられます。「修二っ子タイム」「世界に一つだけの花」の取組、ここ数年続けている授業改善、そして今年度から進めている「キャリア教育」の取組が効果を上げてきていると考えております。教職員と児童との信頼関係が強くなり、子ども達一人一人が自分の良さに気づき、自分に自信を持つことが学習効果や言葉づかい、他の人を大切にできる行動、そして物事をしっかりとやっていこうとする態度の育成につながっているのではないかと感じております。

しかし一方で「自分の言葉で自分の思いを表現できる」のプラス評価は逆に下降傾向にあり、教職員の評価も「あまり出来ていない」が80%となっています。本校の教育目標である「自分の将来を切り拓いていく」ために必要な「表現する力」の向上はまだ不十分であると言わざるを得ません。

これに限らず、課題を明らかにして、更なる教育活動の改善を進めてまいります。

2 自由記述欄にいただいたご回答から

*以下、全ては紹介できませんが掲載いたします。趣旨が変わらぬ程度に一部要約、修正させていただいております。文体も統一されておりません。ご了承ください。

＜肯定的な意見＞

- 修二校は雰囲気もよくて先生も親切で行事などにも熱心で子どもが通うのに安心な学校だと思います。保護者の人も皆おだやかな感じです。
- クラスでは友達と仲良くできてとても楽しそうでした。ありがとうございました。
- ホームページ更新、毎日親子で楽しみにして拝見しております。
- フッ素洗口、漢字検定や算数検定を学校で開催していただけるのがとても有り難いです。助かります。
- 学習予定表の下の「世界に一つだけの花」は良い企画であると思う。
- 特にありません。子どもは学校生活を楽しんでいるので満足しています。
- いつもお世話になっております。日頃から担任の先生や他の先生方によくしていただいていると思っております。ありがとうございます。
- 年生になって学校に行くことが楽しくて仕方ないようです。

＜ご批判＞

- 秋に行事が集中し過ぎているのではないか。
- 上靴や外靴がなくなるということが何度か学級で起こったと聞いたのですが、どのように対処されたのか知りたいなと思いました。
- 行事の縮小傾向について、学校でしかできない貴重な機会ですので、なるべく残してほしいと思います。マラソン大会、学習発表会が短くなつたこと、6年生はクラス毎だったのが合同になつたことなど。
- 宝ヶ池マラソンが校内になつたのはなぜなのでしょうか。
- 学習発表会、マラソン大会など、子どもも親も楽しみにして、目標を持って取り組み、力をつけてきた行事が縮小されてしまい大変残念です。漢検や算検など学習面の取組強化より、生活や仲間と作り上げる体験の充実を望みます。
- 運動会の時期は、なぜ春から秋に変わつたのでしょうか。10月初めならともかく、寒くなつてから運動会、直後に「みんなの音楽会」(6年生だけですが)、学習発表会と行事が近づきすぎていると思います。先生方への負担も大きいことでしょう。一つ一つ行事ごとに子ども達は成長していくものだと思っています。勉強だけじゃない多くのことを学ぶ機会なのに、縮小して、短期間でやつてしまつてなく、子ども達と相談して作り上げて欲しいと思います。今年の学習発表会は子ども達に不評でしたね。保護者から見ても小学

生にはかわいそうな内容でした。昨年までの取組と比べ、楽しくなかったと何人の子ども達から聞き、いたたまれない気持ちになりました。ここ3年ほどでいろんなことが変わり、縮小され修二らしさが失われ、残念に思います。お世話になっていながら申し訳ございません。

- 1 5 大文字駅伝予選会には全員で応援に行くべきだと思います。応援はとても楽しかっただけに、取組が中途半端な終わり方で残念です。
- 1 6 行事や授業以外の取組が縮小傾向にあるのが残念でならない。それに伴ってか、子ども達の意欲が年々損なわれていっている。「どうせ…」と最初から諦めモードで、学校や先生が決めた事をやらされている感が強い。子ども達の意欲や発信することを上手く枠にはめて実現してやってほしい。
- 1 7 近年行事の縮小や内容の薄さが目立つように思います。もちろん勉強あっての学校生活ですが、友達と協力していろいろなことを達成する喜びをもっと味わえたらいいと思う場面が多くありました。時代の流れもあり仕方ないかもしれません…。

＜ご要望など＞

- 1 8 学級の様子が全くわかりません。仕事の関係で懇談会に行けないこともあるので、せめて懇談内容ぐらいは詳しく（特に前回は人権についてであった）お便りにのせてほしい。
- 1 9 学区内の公園で球技の出来る公園が少なくなりました。子どもには教育を受け、休んだり遊んだりして育つ権利があります。学校においても体育館の使用制限を再考していただき、子どもの選択肢を増やしていただきますよう再度お願いしたく存じます。
- 2 0 欠席連絡の方法を改善してほしいです。伝染病で休む場合、近所のお友達に連絡帳をお願いするのは気が引けるし、家を子どもだけにして連絡帳を預けに行くのも不安です。欠席連絡専用のメールアドレスを設ける、時間帯を区切っての電話連絡を可としていただけるなどの方法を探っていただくと助かります。
- 2 1 運動会前に集団演技の位置を学年便りに子どもに記入させて知らせていただいたのはありがたかったのですが、子どもの書いたものが不正確でうまく参観などできませんでした。できれば、先生方もお忙しいとは思いますが、先生に記入していただく方が間違いもなく良いと思います。
- 2 2 ホームページで各学年の情報を増やしてほしいです。
- 2 3 （学校評価アンケートを）年一回にしてほしい。
- 2 4 修学院中学校と一乗寺グラウンドの間の道路の路上駐車が多く、こわいと感じる。事件や事故が起こる前に何とかならないでしょうか。
- 2 5 朝、先生が教室に来られるまで暖房がつかず寒いようです。何か方法はありませんでしょうか。
- 2 6 紙媒体が多すぎる。メールなどの有効利用が必要。
- 2 7 アンケートが記名式なので、迷った時、上のランクに印をつけることになります。本心が書きにくいのではないでしょうか。
- 2 8 P T Aや保護者が関わる学校運営の部分をもう少し考慮してほしい。平日、土曜日、日中、夕方以降時間のある保護者ばかりでないと思います。

本校の教育活動について、様々な角度からご意見をたくさんいただきました。上記アンケートの集計結果が示す通り、本校の教育活動に対しては高い評価をしていただいておりますが、ご批判や要望もたくさんいただいております。ここで回答できることについて以下にお答えします。

まず、行事のことについてたくさんのご意見をいただきました。アンケートに限らず、個人懇談や学級懇談においても同様のご意見をお聞きしています。また上記の学校運営協議会理事会の場でも、地域においても行事が変わっていくことが残念だという声が聞かれる、というご意見をいただきました。

(主に11, 13, 14, 16, 17について)

行事につきましては、毎年どのようにしていくべきかという議論を行っており、内容も少しずつ見直してきております。今年度、特に高学年のお子達の保護者の皆様は大きく変わったという印象をお持ちのことかと思いますが、どこかの時期で見直しが必要となることもあります。ご意見として「修二らしさが失われ…」という記述がありました。「修二らしさ」というのは伝統と言いかえても良いと思いますが、「伝統は革新の連続である」とも言われます。修二の子ども達にとって必要な力は何であるかをよく考え、その力を育んでいくために何をどのようにしていくべきかを考えた上で、行事も含めて教育活動全体を作っていくなければなりません。そして、時には思い切って改革していくこともありますが、そのような見直しを続けて行くことが新たな「修二らしさ」を作り上げていくことになると考えています。来年度以降も様々な見直しがなされていくと思います。ご理解いただきたいと思います。

行事に限らず、教育活動全般の計画、実施につきましては、次の3つの要素のバランスをとって行う必要があると考えております。

- 1 教育課程の確実な履行（授業時数の確保・目的を明確に定めた行事の実施）
- 2 安全な運営
- 3 教職員の業務適正化（働き方改革）

平成32年度から新学習指導要領が完全実施となります。来年度からその移行期間に入ります。高学年の外国語活動が英語科という教科になり（H32年度から）、中学年においても外国語活動が導入され、3～6年生においては今よりも週1時間分の授業時数の増加となります。京都市においては1、2年生においても来年度から年間12～16時間の外国語活動を行うこととなっております。道徳は「特別の教科」として教科化されます。また、マスコミでも報道されてきましたが、その学年で学習することになっている教育内容を勉強せずに終わってしまう、いわゆる「未履修」にならないよう、年間計画をしっかりと立てて教育活動を行っていく必要があります。行事の練習を行うための授業時数をそれほど潤沢に取れる状況ではないということも行事を精選したり、内容を変更したりすることに繋がっています。

それぞれの行事は子ども達にどのような力をつけるために行うのか、ということもよく考えなければなりません。これまで「学芸会」でよく劇などが行われていましたが、これは正規の教育課程とは別の内容であり、それに取り組むには限りのある授業時数を削って企画、練習しなければなりません。確かにご意見としてあったような達成感や仲間との協力など得るものも多いということはありますが、やはり今は「学習発表会」として、授業の中で学んで来たことを生かして発表するという形に変わってきております。京都市の他の学校においても学習発表会を音楽会に変更したり、学年ごとの発表にしたり、行事から外したりするケースも出ています。本校においても数年前から議論を続けており、今回見直しを進めることにいたしました。子ども達は、日頃の学習で学んだことをまとめたり、いくつかの教科の要素を織り交ぜたりして、立派な発表ができたのではないかと思っています。参観に来られた保護者の皆様からも「日頃の学習の様子が分かって良かった」などの評価もいただいております。今後も更に改善して、子ども達の成就感や協働の大切さをより多く学ぶことのできるものにしていきたいと思います。

(主に11, 12について)

マラソン大会についても、これまで実施方法について議論してまいりました。学習発表会同様、授業時数の確保や教育課程に合致した取組になっているか、などが課題となっています。また、何より上記2のように児童の命と健康を守ることのできる安全な取組でなければなりません。各地で子ども達が歩いている所に車が突っ込んでくるという事故もよく起こっています。また先日は私学の中学生が賀茂川で行われた持久走後心肺停止となり救急搬送されるという事故もありました。宝ヶ池マラソンは宝ヶ池公園まで時間をかけて歩いて往復して、現地で走る時間は30分、2年前までは60分でした。道中の交通安全も心配ですし、授業で走ったことのない距離、時間を子ども達に走らせるることは、やはり危険です。今回各学年の持久走として目指す時間を低学年10分、中学年15分、高学年20分と設定し、必ず体育の授業でその時間を走る練習をして、実際本番の日に走るコースも走るようにしてきました。中間休みも練習して事故なく走ることのできる体力づくりと、子ども達の意欲の高まりを図るようにしております。ご理解いただきたいと思います。

3の「教職員の業務適正化（働き方改革）」も考慮すべき大きな要素です。国や京都市レベルで、もちろん学校現場でも働き方改革を進めることは大きな課題となっています。本校においても過労死ラインと言われる月間の時間外勤務時間80時間を超える教職員、月は相当数ございます。ほどなく京都市教育委員会から教職員の働き方改革について保護者の皆様にご理解いただくためのご案内が出されると思いますが、本校でも鋭意改善を進めております。行事や一時間一時間の授業がしっかりと子ども達のための教育として有効なものになっていくことと、教職員が健康で、子ども達に向き合うことのできる時間をしっかりと確保できる状況を整えることを同時に目指していかなければなりません。ご意見の中に、行事の日程が窮屈で先生方も大変ではないか、というお気遣いの声もございましたが、この働き方改革についてもご理解いただきたいと思います。

(主に9、14について)

運動会の実施時期は平成28年度から春から秋に変更いたしました。やはりこれもそれまでの様々な議論を経ての決定です。春は6年生の修学旅行、年によっては5年生の長期宿泊学習、スクーデントシティ学習などがあり、大変忙しい時期となります。また1年生は入学したてでまだ学校にも慣れていない状況で一大行事である運動会を行うよりも、まずは学校生活のリズムに慣れて、スポーツの季節である秋に実施するのが良いと考えております。確かにご意見にありますように、他の行事も秋にたくさんあり、子ども達も教職員も忙しい日程になるのですが、様々調整して取組を進めております。

15のご意見につきましては、これまで本校でも原則6年生全員応援に行くという学年があったり、基本的に代表で走る児童だけが参加する学年があったりと、必ずしも統一されておりませんでした。開催時間帯が授業時間外であり、夕方で、習い事などで参加できない児童があつて全員そろわなかつたり、校区外での活動になりますので、6年生担任以外に引率教員が必要になりましたなど、様々にクリアしなければならない課題があります。当然交通費も発生してきます。来年度以降どのように実施していくか、これも検討しなければならない事柄の一つであると思います。

24のご意見につきましては、「わが修二校」10月号に記載しましたように、下鴨警察署を始め関係機関と連携して、パトカーの巡回回数増加など対策を講じております。しかし、現状大きな改善につながっていないのも事実であると思います。平成24年に亀岡市で起きた交通事故をきっかけに、「京都市通学路交通安全プログラム」が策定され、京都市教育委員会、土木事務所、警察署から成る「通学路安全推進部会」が中心となって、各学区からの要望を基に通学路の安全対策を具体的に進めております。今年度もご指摘の通学路に関しての改善要望を出していくきます。子ども達への指導もより徹底していきたいと思います。

10, 18, 21, 22, 26は、学校からの**情報の発信**の仕方についてのご意見でした。学校運営協議会でも、今回のアンケートで行事についての批判が多かった原因の一つは学校から保護者への情報提供に課題があるのではないかというご指摘をいただきました。真摯に受け止めて、改善を進めたいと思います。しかし、個人的な事を全体に広く知らせる事はできないこともあります、それぞれ個別に対応すべき内容の場合もあります。どうぞご心配な事がある時には担任などにご連絡いただきたいと思います。

「紙媒体が多すぎる」というご指摘は、今の時代を反映したご意見だと思います。しかしPTA電子メール配信は全世帯の登録にはなっておりませんし、全家庭がホームページを閲覧できる環境ではないこともありますので、やはり紙でのお知らせはまだ必要だと考えております。何らかの方法が取れないか、検討していきたいと思います。

欠席などの連絡方法につきましても、配慮すべきことがあるかと思います。これについても検討したいと思います。

19のご意見につきましては、第1回アンケートのご報告でもお答えさせていただきましたように、現時点での実施は難しいと考えています。上の行事についてお答えさせていただいた箇所でも申し上げたように、子ども達の安全など配慮すべきことがあると考えております。

子どもの安全、健康という観点から考えますと、25のご意見の内容についても検討していく必要があるかと思っております。インフルエンザが流行した時期以降、教室の設定温度を調整いたしました。今後も、適宜必要な措置を適切に講じていくようにして行きたいと考えています。

22, 27はアンケートの実施方法についてのご意見でした。学校評価については京都市全体で年2回実施されております。やはり変化を見ていくためには年2回必要だと考えております。また、評価やご意見については、どうぞ記名、無記名に関わらず、忌憚のない評価、ご意見を寄せていただきますようお願いしたいと思います。

28のご意見ですが、保護者の皆様には何かと本校の教育活動並びにPTA活動にご協力いただき、本当に感謝いたします。お忙しい中をやりくりしていただいて、子ども達のためにと思ってご協力いただいていることだと思います。PTA本部、運営委員会とも協議してまいりたいと思いますが、どうぞご無理のない範囲で、お一人お一人が少しづつ協力していくことで、お互い気持ちよく、より良い運営ができるいくのではないかと思っております。今後も教育活動、PTA活動において保護者の皆様のお力が必要な場合があると思います。ご理解とご協力を願いしたいと思います。

お寄せいただいたご意見一つ一つにしっかりとお答えできていないかも知れませんが、ご容赦ください。ここに書ききれていない他のご意見につきましても真摯に受け止め、本校の子ども達の成長のために活用させていただきます。また、このような学校評価アンケートの機会に限らず、忌憚のないご意見やご質問などいつでも担任などを通してお聞かせください。

今後とも、本校教育にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。